

市民と議会を結ぶ

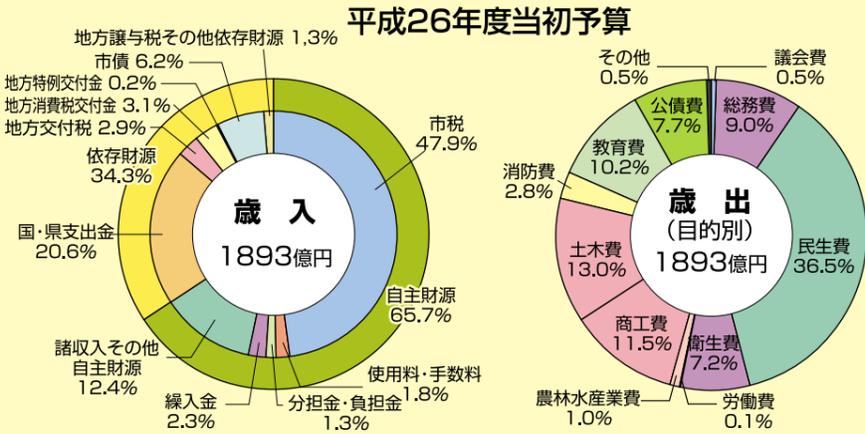
夢・うつのみや

宇都宮市議会 自由民主党議員会

Vol.22

発行日：2014年4月15日
発行：宇都宮市議会 自由民主党議員会
住所：〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5
電話：028-632-2618
FAX：028-632-7140

平成26年度当初予算を可決



櫻井啓一政調会長

過去最大 1,893億円

平成26年度補正予算(第1号)と併せて可決。

※本年2月の降雪による農業施設被害に対する国及び県の助成制度に伴う園芸作物生産振興費として、歳入歳出それぞれ8億9,858万7千円。

議長に熊本和夫議員を選出



3月24日に開かれた第2回定例会最終日の本会議で、わが会派の熊本和夫議員が第69代議長に選出されました。

副議長に渡辺道仁議員を選出



同日開催の第2回定例会最終日の本会議で、わが会派の渡辺道仁議員が第79代副議長に選出されました。

総合的な交通ネットワークの構築には、要となるLRTの一日も早い整備が期待されているところです。佐藤市長には、その強力なリーダーシップのもと、LRTの整備推進のため、全力で取り組んでいただこう期待し、原案に賛成するものであります。

LRT整備推進を期待

社会経済環境や多種多様な市民ニーズに的確に対応した取り組み、将来にわたり持続的に発展していくための取り組みなど、佐藤市長の決意と積極性が十分に感じられ、財政健全化と地域経済の底上げを目指した予算であると高く評価するものであります。

多様な市民ニーズに的確に対応

一般会計の予算規模は、前年度比4.9%増の1893億円と過去最大の予算となりました。財政健全化路線を維持しつつ、拠点形成の促進「総合的な交通ネットワークの構築」、市民の健康づくり、「経済の活性化」の4つの分野に優先的・重点的に取り組むなど、メリハリのある予算であると評価するものであります。

メリハリのある積極的な予算

第2回定例会最終日の3月24日の本会議で、平成26年度宇都宮市一般会計予算案の採決にあたり、櫻井啓一政調会長が、自由民主党議員会を代表して賛成討論を行いました。

賛成討論の要旨

市民の声を市政に！！

宇都宮市議会自由民主党議員会では、より多くの市民の皆様の声を市政に反映させるために、積極的に取り組んでいます。この「夢・うつのみや」に掲載いたしました記事へのご意見・ご感想をはじめ、皆様方の声をぜひお聞かせ下さい。市民に開かれた市議会を目指し、引き続き頑張って参ります。

ご意見・ご要望等は下記へ

電話：028-632-2618

FAX：028-632-7140

Twitterとブログを始めました。今までの広報紙も見られます。宇都宮市の動画も見られます。

宇都宮市議会
自由民主党議員会

<http://www.utsunomiya-jimin.jp/>

平成26年度予算のポイント

交通ネットワークの構築



今後、人口減少・超高齢社会の局面が見込まれており、「誰もが自由に移動し、快適な生活を送ることができるまち」を実現するため、交通ネットワークの構築が必要となります。このため、新年度の予算では、公共交通の東西基軸となるLRTの事業化に向けた調査・測量や、地域内交通運行地区の拡大、バス路線の新設に向けた社会実験の実施などを計上し、総合的な交通ネットワークの構築を図っていきます。

- LRT整備の推進 約 10億2,500万円
- 生活交通確保対策等の推進 約 2億5,700万円
- ・地域内交通運行地区の拡大
- ・バス路線新設に向けた社会実験の実施 など



子育て支援の充実

子ども子育て支援新制度の本格施行に向けて、認定子ども園の新設などにより定員の増加を図り、待機児童の解消を図るとともに、保育士確保策の充実や、子育て支援サービス利用者支援など、子育て支援機能の充実を図っていきます。

また、放課後子ども教室の実施教拡大や、子どもの家の整備など、放課後児童対策に取り組み、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ社会の構築に努めていきます。

- 多様な保育サービスの充実 約 6億3,600万円
- (認定子ども園の整備促進、潜在保育士向け研修の実施など)
- 放課後児童対策の推進 約 7億500万円
- (放課後子ども教室実施校の拡大、子どもの家の整備など)



地域主体のまちづくり

市民協働の地域づくりを推進するため、地域コミュニティづくり活動への支援や自治会の魅力を高め、自治会活動参加促進への支援など、「地域を元気に」という観点から活力ある社会づくりに取り組んでいきます。

また、地域集会所の建設や借家料の一部補助に加え、バリアフリー対応や快適性向上の補助を実施するなど、地域活動拠点や居場所づくりに向けた取り組みに努めてまいります。

- 市民が主役のまちづくり 約 6,600万円
- (地域まちづくり組織への支援、自治会活性化への支援など)
- 地域の居場所づくり 約 2,500万円
- (地域集会所建設等への補助の拡充など)



魅力ある都市空間の形成



本市が掲げる将来の都市像を具体化するため、「ネットワーク型コンパクトシティの形成」を推進するほか、50万都市の玄関口となるJR宇都宮駅周辺地区の整備や、大手地区の再開発事業を推進します。

また、新たに中心市街地に住宅を取得し、居住する世帯への取得費用の一部補助(上限30万円)や、中心市街地の区域内に転入する若年夫婦世帯、子育て世帯に家賃の一部補助を行い、賑わいのある都心部の再生に努めていきます。

更に、JR岡本駅の東西自由通路や橋上駅舎の整備、土地区画整理事業など、地域拠点を整備していきます。

- 都市拠点の形成
- ・JR宇都宮駅周辺の整備推進 約 4,300万円
- ・市街地再開発(大手地区) 約 3億4,000万円
- ・中心市街地住宅施策の推進 約 億3,300万円
- 地域拠点の形成
- ・JR岡本駅周辺の整備推進 約 2億8,000万円
- ・土地区画整理事業(事業) 約 5億8,800万円

農業の持続力と競争力の向上



農業王国うつのみやの構築を目指し、これまでの農産物ブランド化や地産地消の取り組みに加えて、持続可能な強い農業の実現のため、若い担い手の確保や経営意欲にあふれた担い手の育成が必要であることから、新規就農、経営拡大まで、切れ目のない支援を行い、意欲ある農業担い手の確保を図っていきます。

また、競争力を高めるためには、付加価値のある質の高い農産物を効率的に生産する体制の構築が必要になることから、農業技術の高度化や大規模園芸団地整備の支援を行い、農業の持続力と競争力を高めていきます。

- 担い手の育成支援 約 8,100万円
- (機械・施設等の導入支援、新規就農者への給付金の給付など)
- 競争力ある農業生産体制の構築 約 1,200万円
- (農産物ブランドの推進、農業技術高度化、新産地育成支援など)
- 地産地消費の推進 約 400万円
- (地場農産物購入ポイントモデル事業)

わが会派の要望を受け市が対応

- 農作物等の生産維持のための支援
 - 《被害30~70%の場合》
 - ・病虫害防除用の農薬や樹草勢回復のための肥料の購入費
 - 《被害70%以上の場合》
 - ・被災した農作物の代替作付けや追いまきの種苗の購入費
 - ・被災した農作物の取りかたづけ作業費への支援(補助率: 県1/2 市1/2)
 - 被災した農業生産施設の撤去への支援
 - ・被災した農業用ハウスや果樹棚などの撤去、運搬、処分費用(補助率: 国5/10 県2.5/10 市2.5/10)
 - 農業生産施設の再建・修繕への支援
 - ・農業用ハウスや果樹棚などの原状復旧のための再建、修繕費用(補助率: 国5/10 県2/10 市2/10)
 - 果樹の改植への支援
 - ・被害果樹の植え替え費用
 - ・果樹棚の設置に必要な資材導入に要する費用等(補助率: 国1/2)
 - ・改植に伴う未収益期間に肥料や農薬購入に要する費用(20万円/10a 5万円/10a 改植の翌年から4年間分)
 - 畜産農家の経営安定のための支援
 - ・繁殖雌牛の増頭に要する費用(額当たり8万円又は10万円)
 - ・母豚になる交雑種雌豚の導入に要する費用等(生体 額当たり上限10万円)
 - 種苗の確保の取組への支援
 - ・育苗ハウスの復旧・増設のための資材の購入費
 - ・被災地域への種苗の運搬費等(補助率: 定額)
 - 資金
 - (1) 運転資金
 - 貸付限度額: 一般農業者200万円(償還3年以内、据置年以内)
 - 果樹・家畜500万円(償還5年以内、据置2年以内)
 - ・災害経営資金の上乗せ分として500万円以内(損失額の範囲内)
 - (償還5年以内、据置2年以内)
 - (2) 施設復旧のための資金
 - 貸付限度額: 600万円(償還7年以内、据置2年以内)
 - 貸付限度額: 1,800万円(知事特認2億円)
 - (償還7~15年以内、据置2~7年以内)
 - (3) その他
 - 農林漁業セーフティネット資金等の災害関連資金の貸付利率が貸付当初5年間無利子
- お問合せは、宇都宮市農業振興課園芸畜産グループ 028-632-2467へ



大雪被害対策



被害状況を視察

大雪被害対策に関する要望項目

- 市内全域の大雪による被害状況を把握し、迅速にその対策を講じること
- 通学路や歩道などの生活道路の除雪を急ぎ、学生、歩行者の安全確保に努めること
- 高齢者世帯や障がい者など生活弱者の生活基盤の確保に対する支援を行うこと
- 農作物等の被害状況を把握し、復旧に関する支援措置を講じること
- 被害にあった農業施設などの施設復旧のための融資制度や助成制度の創設を検討すること
- 復旧費用の全額を国費で賄える「激甚災害制度」の適用を国、県に働きかけること

10日の本会議で議決しました。平成26年度予算においても、国及び県の支援制度創設に伴い、一般会計補正予算(第1号)として、歳入・歳出、各8億9,858万円余を会期最終日に追加計上しました。内容は、被害作物や被災施設撤去のための支援、被災により減収したことに對する支援施設再建設のための支援の3つの支援策です。わが会派では、今後も市民生活に関わる災害等にはできる限り迅速に対応してまいります。

大雪により、本市において、多くの人的被害(負傷者)・農作物等の被害(農作物、ビニールハウス等)・倒木が発生しました。また、市内全域で、住家・非住家においても、多くの被害が発生しました。自由民主党議員会では、2月18日に市長に「大雪被害対策に関する要望書」(6項目)を提出し、21日には、特に被害が顕著であった農業施設の現地調査を行いました。4地区(姿川、横川、瑞穂野、富屋)のビニールハウスの損壊状況を調査しましたが、いずれも全壊状態でした。損壊したビニールハウスは、いずれも連棟型のもので、大雪後に降った雨により、相当な重量となり、押しつぶされたような状態となり、ハウスの中にあつたイチゴやトマトも全滅でした。21日に確定した農作物等の被害状況は、農産物(イチゴ、トマト、アスパラほか、全16品目、95戸)の被害額は3億3千万円余となり、施設関係(ビニールハウス等、21戸)の被害額は9億4千万円余となりました。わが会派の要望を受け、市では3月議会に、「降雪による農業被害に対する復旧支援」のため、3億2,944万円の

第二回定例会一般質問(代表) 宇都宮駅東口地区整備事業の整備方針は



渡辺道仁議員

宇都宮駅東口地区整備事業について、「対話型市場調査」の結果を踏まえ、今後、どのように整備方針を策定し、事業を進めていこうとしているのか。

佐藤市長 民間施設の事業成立性、最大限に民間活力の活用を図り財政負担を極力抑えつつも整備効果の高い中核施設の整備施設・手法のあり方など、今後、調査・確認し、県都の玄関口にふさわしい広

域交流拠点の形成に向け、導入すべき機能や事業化方針などを盛り込んだ整備方針をできるだけ早期に策定し、事業化に向け取り組んでいく。

その他の質問項目

- 市長の政治姿勢について
平成26年度当初予算案
LRTの事業化
中心市街地のにぎわいつくりの強化
公共工事における入札契約
大雪被害に対する取り組み

北清掃センターの建て替えについて
中央卸売市場の活性化について
中央卸売市場の施設整備の方向性

- 関連棟の常時開放
上下水道事業について
上下水道局の機構改革
公共下水道における雨水対策
教育行政について
特別支援教育基本計画
適応支援教室の整備

第二回定例会一般質問(抜粋) JR岡本駅周辺整備事業の積極的な推進を



五月女伸夫議員

岡本駅周辺整備事業について、誰もが利用しやすい交通環境の創出に向けて積極的に進める必要がある。また、本市北東部地域の玄関口にふさわしい、岡本駅周辺の良好な景観の形成及び住居表示の実施などに取り組むべき。

佐藤市長 駅西口広場にアクセスする都市計画道路などの整備を進めるとともに、新年度に工事に着手し、平成27年度には東西自由通路・橋上駅

舎、西口広場などの供用開始を、平成28年度には東口広場の供用開始を目指していく。

その他の質問項目

- また、岡本駅周辺の景観形成については、重点的に景観づくりに取り組むエリアの設定
建物の色彩の調和などについて
地域の皆様との合意形成を図りながら、景観形成重点地区の指定を目指していく。住居表示などは、完了時期に合わせて実施できるよう検討していく。

将来の財政運営
LRT整備事業
地域と一体となつたまちづくりの推進

- 河内・上河内地域の振興について
・河内・上河内地域の将来像
持続可能な環境都市うつのみやの実現について
社会福祉行政について
子ども・子育て支援新制度
障がい者福祉施策
救急活動について

LRT 住民投票条例の制定を否決

臨時会を開催

LRT導入計画の賛否に関する住民投票条例の制定について、市民から直接請求があり、市議会では、地方自治法の規定に基づき臨時会を開催しました。

- 1月27日 本会議場にて条例制定請求者代表者の意見陳述があり、7名の議員が質議を行いました。その後、総務常任委員会にて請求代表者2名を参考人として招致し、質議を行い、さらに、執行部に対しても質議を行いました。
1月28日 総務常任委員会にて委員間で協議を行い、採決しました。
1月28日 本会議場にて総務委員長より委員会での審査結果について報告を受けた後、各会派から討論が行われ、採決の結果、賛成少数により否決されました。

第1回

シリーズ LRT

LRTについては、平成26年度から測量設計も始まることで、市民の皆様の関心がさらに高まると考えます。

我が会派では、将来の本市の発展のため、その機能と役割を十分認識しており、多くの市民の皆様にご理解を深めていただき、誰にも愛され、利用されるLRTを目指していきたいと考えています。

そこで、LRTに関するトピックをシリーズ化して掲載することで、少しでも、LRTを身近なものとして感じていただき、市民の皆様のお話づくりに貢献していきたいと考えています。

第1回の今回は、「海外のLRTの現状」を取り上げます。最初にできたLRTは、1978年にカナダのエドモントンというところからです。それ以来36年が経過しています。その間、新規で導入された都市数は110を超え、さらに、各都市では、路線の拡張を進めています。

それらに共通する基本的なポイントを見ると、まず、第一に、交通結節点を整備することで、複数の交通モードのシームレスな連携を図り、都市交通システムとして統合されている。第二に、交通の統合が、単に停留場や駐車場といったハード面だけでなく、運賃をも含めたソフトの面でもなされている。第三に、統合された都市交通システムを、まちづくりの一環として作り上げている。第四に、公共交通事業が、上下水道などと同じ都市のインフラとしてみなされており、各地のLRTの建設・運行が公的な財源で支えられている。ということが挙げられます。

また、最近の動きとしては、中心市街地を回遊する小規模で、比較的安価に仕上げたシステムが登場しています。具体的には、ポータランド、タコマ、シアトルなどで、この内タコマでは、全額無料で中心市街地と駐車場やバスターミナルがある交通結節点の間を結び、都市という平面の「水平のエレベータ」と言われています。

さらに、技術発展も著しく発展しており、動力面でのハイブリット化や、車両面での低床化、ゴムタイヤ方式の登場など、環境面や福祉面でも、今後ますます進化していくことが予想されます。

市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

- ・地元の丁字路なのですが、最近、新たな家が建ってしまい左右の見通しが悪くなってしまったのですが、カーブミラーなどは付けてもらえないのかは、どこに訊ねればいいのか？ 30歳代男性
対応：道路保全課へ案内
・土、日曜日に育成会でリサイクル廃品の回収をしているのですが、たびたび不法業者に持ち去りをされてしまうので、どうかしてほ

しい。 50歳代女性
・農業を営んでいるものですが、大雪で被害を受けてしまいました。市の方でも、いろいろ対策は取っていると思いますが、どこへ連絡をすればいいのかわかりません。教えてください。 50歳代男性
対応：農業振興課が窓口になっているので、そちらへ連絡してください。

・LRTに関する臨時議会等の自民党議員会の対応に感心しました。議会制民主主義のなかで、住民投票というのは、いかがかと思ひます。今後ともきざんとした対応で、しっかりとした議会にしてください。 50歳代男性

今後とも、多くのご意見・ご要望をお寄せください。

市議会

第2回定例会の結果報告

平成26年度予算など可決

宇都宮市議会は2月26日から3月24日までの27日間の会期で第2回定例会を開き、平成26年度一般会計予算案など市執行部提出の議案60件、委員会提出議案2件、議員案4件を原案通り可決しました。

議案及び陳情の議決・採択状況は次の通りです。

- 宇都宮市公平委員会委員の選任(2件)
平成25年度宇都宮市一般会計など平成25年度補正予算(16件)
平成26年度宇都宮市一般会計など当初予算(18件)追加補正(1件)
消費税率及び地方消費税率の改定による使用料等の額の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 など
条例の制定及び条例の一部改正(15件)
包括外部監査契約の締結について
工事請負契約の締結(3件)
ごみ処理に関する事務の委託及び健康交流センターの利用に関する規約の一部変更に係る協議について
字の廃止及び町の区域の変更について
資本剰余金の処分について(2件)
議会会議規則の一部改正
議会委員会条例の一部改正

= 以上原案通り可決

陳情 国に対する意見書

- TPP環太平洋連携協定交渉に関する陳情 採 択
TPP環太平洋戦略的経済連携協定交渉に関する意見書を提出
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情 採 択
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を求める意見書を提出
LRT予算の凍結を求める陳情などLRTの導入に反対する陳情(8件) 不採択

- 市民の代表である議員のモラル向上をお願いする陳情 不採択
「特定秘密保護法」廃止についての意見書の提出を求める陳情 不採択
署名簿縦覧の目的外を防止する条例等の制定を求める陳情 不採択

議会関係人事 (3/24~)

- 委員会 (◎は委員長、○は副委員長)
常任委員会 (その所管に関する市の事務に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。)
総務 (出納室、行政経営部、総合政策部及び理財部の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属さない事項)
◎馬上 剛 金子和義 小林紀夫
厚生 (市民まちづくり部、保健福祉部及び子ども部の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属さない事項)
鎌倉三郎 渡辺道仁
環境経済 (環境部、経済部及び農業委員会の所管に属する事項)
篠崎光男 熊本和夫
建設 (検査室、建設部及び都市整備部の所管に属する事項)
○増淵一基 中山勝二
文教消防水道 (教育委員会、消防本部及び上下水道局の所管に属する事項)
五月女伸夫 櫻井啓一
議会運営委員会 (議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項を調査します。)
◎小林紀夫 五月女伸夫 増淵一基
各会派代表者会議 (会派間の意見の調整などを行います。)
熊本和夫(議長) 渡辺道仁(副議長)
中山勝二(会派会長) 小林紀夫(議運委員長)
広報広聴委員会 (市議会広報紙や議会ホームページ、市民からの意見に関する事項について協議します。)
◎増淵一基 五月女伸夫 櫻井啓一

ご意見・ご感想は身近な当会議員に!

※役職は当議員会の役職、名前の中の○数字は期数です。



顧問
鎌倉三郎 ⑩
かまくら さぶろう
大寛2丁目6-13
TEL. 634-4705
FAX. 639-6407



会長
中山勝二 ⑨
なかやま かつじ
江曾島町1027-2
TEL. 658-3318
FAX. 659-1993



相談役
篠崎光男 ⑧
しのざき みつお
雀宮町1-1
TEL. 654-0770
FAX. 653-9897

掲載致しました記事だけでなく、市民の皆様が日頃感じている暮らしに関するご意見・ご要望・ご感想を、身近な議員にもお気軽にお寄せ下さい。



副会長
金子和義 ④
かねこ かずよし
平塚町130-5
TEL. 656-2753
FAX. 656-2059



渡辺道仁 ③
わたなべ みちひと
田野町595-47
TEL. 652-7200
FAX. 652-7200



熊本和夫 ③
くまもと かずお
松原2-7-39
TEL. 623-9898
FAX. 623-9898



幹事長
五月女伸夫 ②
そうとめ のぶお
下岡本町4234
TEL. 673-2072
FAX. 673-8580



総務会長
広報局長
小林紀夫 ②
こばやし のりお
海道町143
TEL. 661-5465
FAX. 616-2021



政調会長
研修局長
櫻井啓一 ②
さくらい けいいち
篠井町1577
TEL. 669-2994
FAX. 669-2546



副幹事長
会計・副広報局長
増淵一基 ①
ますぶち かずき
石井町2472-6
TEL. 689-3719
FAX. 664-4192



副政調会長
会計監査・副研修局長
馬上 剛 ①
うまがみ ごう
馬場通り3-1-10
TEL. 635-3681
FAX. 635-3682

Twitterとブログを始めました。今までの広報紙も見られます。宇都宮市の動画も見られます。

宇都宮市議会
自由民主党議員会

http://www.utsunomiya-jimin.jp/